

なでしこ新聞

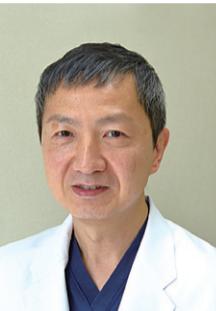
NADESHIKO NEWS PAPER

2018.5月号

Volume 61

医療法人 起生会
表参道 吉田病院
介護老人保健施設 なでしこ
熊本県熊本市中央区
北千反畠町2-5
<http://www.kiseikai.or.jp/>

Attention News



吉田元樹
表参道吉田病院 院長

新しい表参道吉田病院・なでしこ

はじめに

平成30年4月1日付けで、医療法人起生会 表参道吉田病院の5代目の院長を拝命致しました。表参道吉田病院は、1901年(明治34年5月)に熊本市小幡町に診療所として開設以来、117周年を迎えました。1907年(明治40年9月)に現在地(北千反畠町)に病院を開設以来、地域に根ざした医療を実践してきたと私の先代達は自負しております。平成28年4月の熊本地震の際には、碁台小学校校区の指定緊急避難場所ではありませんでしたが、幸いにも建物の被害が少なく、井戸水の確保が可能だったことから数日間は病院ロビーを開放し、帰宅困難な方々やご自宅で過ごすことに不安な方々のお力添えをする事が可能でした。

これからのお起生会

医療法人起生会グループとしましては、病院併設の介護老人保健施設「なでしこ」、居宅介護支援事業所「なでしこ」、ヘルパーステーション「なでしこ」、ヘルパーステーション「なでしこ」へ

検査・治療について

これからのお起生会

これからのお吉田病院

大腸内視鏡検査

これからのお吉田病院

大腸内視鏡検査

最後に



表参道吉田病院の理念

思いやりの心と
良質で安全な医療を提供し
選ばれる病院をめざします。

基本方針

- ① 患者さまの人格と権利を尊重し、患者さま中心の医療を提供します。
- ② 職員はこころと技術の研鑽をつみ、良質で安全、安心な医療の提供に努めます。
- ③ 地域において、高齢者に質の高い医療とケアを展開し、他の医療機関、介護福祉施設との連携を図ります。
- ④ 予防医学から治療まで包括的な医療を提供します。
- ⑤ 健全な病院運営をめざします。

まな選択肢の中から、患者さんやご家族と相談しながら治療法を決定して行きたいと考えています。

昭和四十七年五月十四日。私の父、吉田憲生が僅か六十一歳で癌死した。私が三十一歳の時である。当時は本院である吉田病院と結核療養所である分院白雲荘の二つの病院を経営していた。本院の吉田病院は兄、憲史が継ぐとともに、分院白雲荘はどうするか。しかしその頃は結核患者は減り、旧態依然の療養所では成り立たない状況となっていた。熟慮の末私が院長となりリハビリテーション主体の病院を新築することとした。病院名も熊本厚生病院と変えた。昭和四十八年四月には九十六床の病院の完成をみた。かなり早業であった。それは父の代から務めていた職員のためでもあった。新病院の経営は老人医療無料化の追い風にも乗り極めて順調に経過した。

新病院経営と転機

四十五年間の院長職を振り返つて

表参道吉田病院
Yoshida hospital
NEWS

吉田仁爾
総院長



略歴

- ◎昭和41年 熊本大学医学部卒業
- ◎昭和46年 熊本大学大学院卒業 医学博士授与
- ◎昭和46年 大阪府立成人病センター
- ◎昭和47年 熊本大学医学部代謝内科
- ◎昭和48年 熊本厚生病院 院長
- ◎昭和58年 吉田病院 院長
- ◎平成15年 表参道吉田病院 院長
- ◎平成30年 表参道吉田病院 総院長

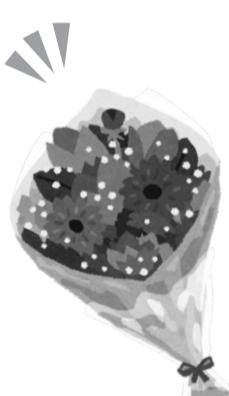
しかし私は転機が訪れた。昭和五十八年吉田病院の院長とならざるを得ない事態となつたのである。吉田病院の院長である兄、憲史が医師会の副会長になつたり、病院給食の会社を立ち上げたり、ライオングループの国際理事になつたりの超繁忙となり診療は代診まかせとなづるを得ず院長不在の事態となつてからが大変苦労した。リハビリ主体の熊本厚生病院とは違い、急性期の患者を見ることが多い内科医としてまだまだ勉強不足、経験不足を痛感させられた。医学書と首引きで毎日遅くまで勉強をし、講演会にもできるだけ出席した。また患者さんの容態が変わると家に帰ることもせず、当直をし、睡眠不足で翌日の診療をした。まだ若く体力もあった。しかし家族サービスは殆んどゼロに近かつた。この時期があつた。

完成した未来型の病院

熊本厚生病院の院長であつた富



四十五年と、これから



職員一同から感謝状を頂きました!



松先生や小島先生には、各病棟の責任者となつていただき、大変なご苦労をかけた。十年前には呼吸器科の実力者、田中先生を市民病院より迎え、より一層患者さんも増加した。表参道吉田病院も平成十五年完成後早くも十五年を経過した。色々な面で地域医療、福祉に貢献できているという自負も生まれている。

第13回 TQM活動報告会

1位

「電子カルテ運用の問題点と対策」

総務課・施設課



2位

「調剤業務の時間短縮を目指して」

薬剤科



3位

「電子カルテ導入に向けた業務改善
職員の意識調査」

介護病棟

今後の目標と課題が
明らかになった発表でした電子カルテの導入の効果が
明解で高評価でした!

「電子カルテ導入に向けた業務の改善」



平成29年度は当院にとっては、画期的な特別の年度になりました。昨年10月に電子カルテが導入されたのです。既に多くの病院で導入が進んでいて、総合病院のレベルでは70%以上、当院規模では50%前後導入され、当院の職員の中には、他院での使用経験者もいました。特に、本年4月より当院院長に就任した吉田元樹院長は電子カルテ使用経験者であり、強力な導入推進者がありました。電子カルテというと、複雑な上に経費や維持費が高額な印象で、導入するメリットがそれに見合うのかという疑問が私にもありました。現状を踏まえて、将来を見据えて、病院は電子カルテ導入に向かいました。

そこで、病院全体として医療の質の向上を目的とする院内の取り組みであるTQM(Total Quality Management)活動の発表会は、当院では毎年開催され、優秀な部署が表彰を受けます。今年も3月30日に行われ、そのテーマは「電子カルテ導入に向けた業務の改善」です。電子カルテの導入に向けての取り組みや、導入後の操作手技の習熟、導入後の利点や目標、あるいは課題について、全15部署からの発表者が5分間のプレゼンテーションを行いました。発表の評価は、審査員に安藤正幸名誉院長、建岡久美看護部長、そして私が担当し、優秀な上位3部署の選出に当りました。

各部署共、発表の中で電子カルテの利点が明確に表現されており、また問題点も見えるようになり優れた発表が多く、選出には苦慮致しました。その中で、第三位に選ばれたのは介護病棟です。電子カルテ導入前と導入後に職員へのアンケートを繰り返し、職員の電子カルテ操作の上達が経時に見て、4ヶ月後には操作の習熟と共に利便さや問題点が明確になり、今後の目標と課題が明らかになった内容でした。第二位に選ばれたのは薬剤部でした。電子カルテの導入効果で時間にゆとりが出来、仕事効率の向上と、患者への配慮の時間の増加、そして增收へつながるという明解な発表で高評価でした。そして、第一位ですが、審査員全員一致で総務課でした。電子カルテのシステム構築を任せられた増永真一郎氏は、今回のこの電子カルテ導入に半年前から携わり、現在も依然としてシステムの当院固有の改良に尽力し、導入を成功に導いた立役者であります。彼の功績は高く、発表にはその苦悩も表現されました。

今回の発表では、電子カルテの導入に際して職員一丸となった取り組みが表現され、TQM活動という取り組みそのものにも十分な意義を見いだせた発表会となりました。今後も全職員で協力しあって電子カルテの課題に取り組みながら、より良い医療を提供し、選ばれる病院を目指して行きたいですね。

(副院长・田中不二穂)

外来担当医師予定表

受付時間

平 日／午前…8:30～12:00(診療は9:00からとなります)
午後…13:00～17:00(診療は13:30からとなります)
土曜日／午前…8:30～12:00(診療は9:00からとなります)
休診日／日曜・祝祭日

※SAS…睡眠時無呼吸外来／田中・安藤・吉田仁

安藤Drの診療について

安藤Drの診療は予約制となりますので電話等でのご予約をお願い致します。

水曜日午後の消化器内科の診察について

予約制となっておりますので、電話等でのご予約をお願いします。

医師名		月	火	水	木	金	土
吉田仁	午前 午後	●			●		
安藤	午前 午後	●	●	●		●	
吉田元	午前 午後				●		
田中	午前 午後		●	●		●	
吉田俊	午前 午後		●	●		●	
小島	午前 午後		●		●		
渡邊	午前 午後	●			●		
代謝内科							第2週 岡川 第4週 板井

お問い合わせ先：TEL.096-343-6161 FAX.096-343-7626

●H30年5月1日より

NADESHIKO INFORMATION

なでしこ広場

「表参道 吉田病院」や「介護老人保健施設 なでしこ」の様々な情報を届けします。

第7回 減塩教室

平成30年2月3日(土)に減塩教室が開催されました。



平成30年2月3日(土)当院にて
減塩教室を開催し12名の方が参加されました。

まずは管理栄養士より「減塩食についてのポイント」について。

減塩は少しずつ塩分を下げる薄味に慣れることが重要で、以下のようなポイントを日々の食事で取り入れて、薄味でも美味しい食べれる工夫が必要となります。

減塩食の ポイント

- ◎昆布や鰹節でだしをしっかりと取り、だしの旨味を活かす。
- ◎酸味や香辛料、香味野菜などを使用し、味にメリハリを付ける。
- ◎旬の食材を用いて、素材の持ち味を活かす。
- ◎加工食品やインスタント食品の利用を控えめに。



試食の栄養成分		エネルギー(kcal)	蛋白質(g)	脂質(g)	塩分(g)
御飯170g		305	5.3	0.8	0
魚の和風ステーキ		183	13.5	5.5	0.56
大根とじゃこのサラダ		42	1.4	2.1	0.88
トマトスープ		6	0.3	0	0.49
紅茶ゼリー		66	0.4	2.0	0.03
合計		602	20.9	10.4	1.96

参加者の皆さんには当院の減塩食(塩分2g以下)を試食して頂き、減塩食でも美味しいことを実感していただけたのではないかと思います。

次に、看護師より「正しい血圧の測り方」について。

高血圧には常に血圧が高いという状態以外に、家庭や病院で測る血圧だけが高くなる場合もあります。家庭での血圧測定の時間を決め、同じ条件で測定することで正確な血圧情報を把握でき、測定値を記録しておくことで健康管理の目安と治療方針の助けとなりますので、毎日の血圧管理が大切となります。

最後に、医師より「上の血圧・下の血圧」について。

上の血圧・下の血圧という言葉を耳にしたことがあると思いますが、違いをご存知でしょうか。上の血圧=収縮期血圧(心臓が収縮したときの血圧)、下の血圧=拡張期血圧(心臓が拡張するときの血圧)を表しています。

上の血圧、下の血圧どちらか一方でも高いと心血管の病気に罹りやすくなることがわかっています。また、上の血圧と下の血圧の差を「脈圧」と言い、脈圧の正常値は40~60mmHgで、この脈圧が大きても小さくても、血管が硬くなっている可能性があるので、当院でも行っている血管伸展検査や頸部血管超音波検査で、動脈硬化の有無を調べてみてはいかがでしょうか。

今後も定期的に健康教室を開催する予定ですので、多数の参加をお待ちしております。



(病院・福重)

第45回 健康講演会レポート

健康な毎日を送るために ~食事で気をつけたい事~

講師:当院栄養科 山脇科長

栄養満点の
簡単料理レシピも
紹介されました!



バランスの良い食事で健康な毎日を!

2月24日(土) 14:00 ~ 第45回健康講演会「健康な毎日を送るために ~食事で気をつけたい事~」が開催されました。発表者は当院栄養科の山脇科長です。

健康寿命という言葉をご存知でしょうか? 健康上問題かなく日常生活を送ることが出来る期間の事を言いますが、平均寿命との差が男性で約9年、女性で約13年あるそうです。健康寿命の最大の敵は運動器の障害です。骨、関節、筋肉は連携して動いているため、どれか1つが悪くなると体がうまく動かなくなってしまいます。

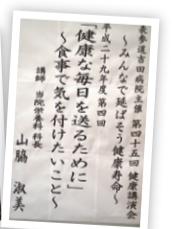
自分の体を自由に動かすためには食事と運動が大切です。徐々に食事量が減っていく、体を動かすための必要なエネルギーが不足した状態を低栄養と言い、体重減少、歩行速度低下、瓶やペットボトルのふたが開けられない、家事が以前ほど出来ない等の症状が目安となります。低栄養状態になると、認知機能の低下、骨量低下、脱水、免疫力、筋力、体力低下、病気にかかり易くなる等、日常生活に支障をきたしてしまいます。

予防するためには、たんぱく質、カルシウムの摂取が重要です。たんぱく質には、体そのものを作る働きがあり、体内に入った細菌、ウイルスの排除、食べ物の消化、吸収、輸送、代謝、排出を助けてくれます。肉、魚、大豆、大豆加工品等に多く含まれます。カルシウムは1日600mgが必要です。乳製品、大豆、大豆加工品、海藻、小魚に多く含まれ、骨を丈夫にしてくれます。吸収率が悪く、不足しがちですが、リンを多く含むインスタント食品、スナック菓子・加工品を食べる頻度が多い方は注意が必要です。

低栄養を防ぐため必要な事として、1日3食を食べる、肉か魚を毎食1品と/or、コップ1杯の牛乳、ヨーグルトを1日1回と/or、おやつはお菓子等の甘いものばかりではなく果物も選ぶ、パン食の時はチーズやハム、野菜類等を挟みバランスよく食べる、等が挙げられました。

最後に、1品でバランスが取れる簡単料理レシピが紹介されました。「包丁要らず簡単ピラフ」は材料を炊飯ジャーに入れて炊くだけで簡単に作れます。「栄養たっぷり和風ポタージュ」は豆乳や酒かすが入った栄養満点のスープです。会場の皆様にも食べて頂き、手軽でおいしいと感想を頂きました。

今回で健康寿命をテーマとした講演会は終わりとなりましたが、如何だったでしょうか。日々の心がけで、健康寿命は大きく伸びます。是非実践してみて下さい。



(病院・増永)

御活用下さい 旬レシピ

毎月10日前後に、その月に旬を迎える栄養価に富む野菜を利用した手軽に出来るレシピを2~3品紹介しています。

警備員室横に設置しておりますので、毎日の食事作りの参考にぜひご活用下さい。

(栄養科)

介護保険で何が利用できるの?

【看護小規模多機能型居宅介護とは】

居宅支援事業所なでしこ
田上 隆之



今回は「看護小規模多機能型居宅介護」についてご紹介致します

看護小規模多機能型居宅介護

● 看護小規模多機能型居宅介護とは

要介護者が施設に入らずとも、住み慣れた自宅で安心して生活できるようにと、2006年、施設への「通い」を中心に、短期間の「宿泊」や自宅への「訪問」を組み合わせ、生活の支援や機能訓練を「ひとつの事業所」で行う在宅介護サービスが誕生しました。これは「小規模多機能型居宅介護支援事業所」といいます。

しかし、「病状が不安定なので、医療的な関わりは大丈夫かな?」「夜間など、具合が悪い時にどうしたらいいの?」など、医療面で、このサービスに不安を感じる方も実際多くいらっしゃいました。

そこで、医療面を含む自宅介護の悩みを抱える人たちを支援するサービスが、2015年誕生の「看護小規模多機能型居宅介護」です。

(※2012年に別の名称でサービス自体は開始されていました)

● 利用のメリット

ひとつの事業所で、通い(通所)・泊まり(ショートステイ)・自宅介護(訪問介護)および看護(訪問看護)といったサービスが一体的に利用できますし、関わる職員が同じである為、連携がしやすくなることで体調や本人・家族の生活スタイルに応じた利用も可能になり、家族の介護負担も軽くなります。

● 利用のデメリット

ひとつの事業所しか利用できませんから、関係性が悪くなるとサービスの組み立てが難しくなってきます。最悪の場合は、事業所を変更するか、通常の居宅介護支援事業所にて計画そのものを組み立て直す必要性もあります。

● 基本料金(1割負担の場合)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
12,341円	17,268円	24,274円	27,531円	31,141円

※料金は1ヶ月単位となります。

※事業所によっては、別途加算や宿泊費、食事代等がかかります。

※2割負担の方は、上記金額の2倍となります。



いかがでしたか? 詳しいことは
『居宅介護支援事業所なでしこ』まで
お問い合わせください。



お気軽にご相談ください!

興味があられたり、何か疑問に思われる事がございましたら、
居宅支援事業所なでしこまで、ご連絡ください。

tel 096-343-7458

vol.8

部署紹介

各部署で活躍するスタッフや日々の業務をご紹介いたします!

ば・ぶー

今回は、事業所内保育施設「ば・ぶー」を
ご紹介します!

事業所内保育施設、「ば・ぶー」では現在、保育士2名、保育補助1名で保育を行っています。

生後3ヶ月から3歳までのお子様を対象として、お預かりしています。「家庭的な雰囲気で」と心掛け、散歩や季節の行事などを楽しんでいます。今年の春も白川公園へ、お花見ピクニックに出掛けました。

毎日、笑ったり泣いたり、すくすくと成長を見せてくれる子ども達。そんな元気な笑顔に、時にはパワーをもらい、時には癒されたりもしています。

朝、お母さんと離れるときは、笑顔でごあいさつができる子、涙を見せてしまう子など様々ですが、保護者の方が、安心して仕事に専念されますよう、これからも、安全保育に努めていきたいと思います。



今年もお花見
ピクニックへ!!

季節の行事も
楽しんでいます!



(保育士 佐方真生)

介護の知恵袋

認知症について

◎もし認知症だと疑われるなら?

①ふだんかかっている医師に相談する。

内科、外科、整形外科などの診療科目に関わらず、定期的にかかっていて話しやすい医師がいれば相談してみるのも一案です。認知症に詳しい医師・医療機関との繋がりがあるかもしれません。

②地域の窓口に相談する。

あなたがお住まいの市区町村の役所や地域包括支援センターでも認知症の診断ができる医療機関を紹介することができます。

市区町村の役所

相談の窓口は、役所によって名称が異なることがあります。例えば、「認知症相談窓口」「高齢福祉課」などです。まずは代表番号に電話して「認知症を診療できる医療機関を探している」ことを話すと担当の人に繋がります。

認知症を早期発見、
予防対策しよう!



介護老人保健施設 なでしこ

NADESHIKO
NEWS

◎認知症に詳しい医療機関

認知症の診療ができる医師は、神経内科、精神科、脳神経外科、内科などいろいろな診療科に属しています。いま、「認知症科」という診療科はありませんが「もの忘れ外来」「メモリークリニック」などを標榜している医療機関もあります。

◎認知症は予防できる?

現時点では残念ながら、「現在こうすれば認知症にならない」という方法はありません。しかし最近の研究から「どうすれば認知症になりにくいか」ということが少しずつわかってきました。認知症を予防する対策は大きく分けて2種類で、日々認知症になりにくい生活習慣を行うものと、認知症で落ちる3つの能力を簡単なトレーニングで鍛えるものがあります。これらを長く続けていくことで、認知症を発症せずに過ごせたり、認知症になる時期を遅らせたりできる可能性があります。

◎認知症になりにくい生活習慣

認知症の原因の約6割を占めるアルツハイマー型認知症の発症に、生活を取り巻く環境の影響が大きく関わっていると分かってきました。

脳の状態を良好に保つためには食習慣や運動習慣を変えることが、認知機能を重点的に使うためには対人接觸を行うことや知的行動習慣を意識した日々を過ごすことが重要だと言われています。下の表でそれぞれの対策の具体例をまとめました。

1. 食習慣	野菜・果物(ビタミンC, E, βカロテン)をよく食べる 魚(DHA, EPA)をよく食べる、赤ワイン(ポリフェノール)を飲む
2. 運動習慣	週3回以上の有酸素運動をする
3. 対人接觸	人とよくお付き合いをしている
4. 知的行動習慣	文章を書く・読む、ゲームをする、博物館に行くなど
5. 睡眠習慣	30分未満の寝覚め 起床後2時間以内に太陽の光を浴びる

◎認知症に関する相談・介護のお悩みをお持ちの方へ

■介護にあたっての基本的な考え方

【尊厳を守る】つい20~30年前までは、認知症(当時は痴呆といいました)についての知識も社会全体に乏しく、一部では「ボケてしまったら何もわからなくなる」とばかりに、認知症の方を非人間的に扱っていた時代がありました。しかし、現在ではたとえ認知症になってしまっても、適切な援助を受けながら社会生活を継続して送る権利が保障されています。

認知症の方は皆さん、病気になる前までは社会の一員として活躍し、また家庭を支え、子供を養育されてきた方々です。「あれができなくなった」「これがわからなくなつた」と、認知症の症状にはばかり目をやるのではなく、その方の変わらぬ本質をしっかりと見つめて、その時に必要な手助けを、医療・介護・福祉・地域・家庭…すべての場で連携して行うことが大切です。認知症の方を子供扱いせず、介護する周りの方が、もし自分が認知症になった時に思ひたいと思えるようなケアを、私たちはすべてにおいて心がけて行きたいと思います。

『できることはご本人に』介護されている方は、つい親切心からご本人に関わるすべてのことをやってしまいかれます。しかし、もし自分がなら、と考えてみて下さい。何もかも人に助けてもらって、自分が人のために役に立つことのない生活、これはある意味まるで「生きがい」のない生活だと思います。認知症の診断を受けても、まだまだご本人にできることはたくさんあります。できることはどんどんご本人にやってください。「昔取った杵柄」といいますが、昔覚えたこと、体で覚えたことは、なかなか忘れないものです。それぞれの認知症の特徴をよく理解して、苦手なことは手助けし、得意なことは積極的にご本人にお任せする。それによって、ご本人の自尊心が保たれますが、いきいきした生活を営むことにつながります。社会や家庭のなかで今も役割を果たせている、と自信をもっておられる方は、認知症が進んでも困った症状(BPSD)を起こしにくいものです。

◎認知症で初期に落ちる3つの能力の鍛え方

認知症になる前段階で落ちる脳機能を集中的に鍛えることは、発症を遅らせるための効果的な方法であるということが分かってきました。認知症という病気に至る前の段階では、通常の老化とは異なる認知機能の低下がみられます。この時期に最初に低下する認知機能が、「エピソード記憶、注意分散機能、計画力」です。これらを意識して重点的に使い、その機能を鍛えることで認知機能の低下を予防します。次の表に、それぞれの機能の簡単な鍛え方をまとめました。

機能	内容	鍛え方
エピソード記憶	体験したことを記憶として思い出す	◎2日遅れ、3日遅れの日記をつける ◎レシートを見ないで、思い出して家計簿をつける
注意分散機能	複数の事を同時に行なう時、適切に注意を配る機能	◎料理を作るときに、一度に何品か同時進行で作る ◎人と話をするとときに、相手の表情や気持ちに注意を向かながら話す ◎仕事や計算をテキパキと行う
計画力	新しいことをするとき、段取りを考えて実行する能力	◎効率の良い買い物の計画を立てる ◎旅行の計画を立てる ◎頭を使うゲーム(囲碁・将棋・マージャン等)をする ◎やり慣れたことでなく新しいことをする

◎最も重要なのは

認知症の予防について書きましたが、最も重要なのは「早期発見」と「早期からの予防対策」です。認知症は本人のみならず、ご家族にも身体的、精神的、経済的な負担が大きく、更に医療、社会、経済的なサポートが必要となります。軽度認知障害(MCI)の段階での早期発見を行うことにより、認知症への進行を食い止めることができます。また早期の段階で認知症を発見することで、ご本人とご家族がご本人の意思を尊重する形で将来の事をゆっくりと考える時間的余裕を作り支援する態勢を整え、備える事ができます。

(WEB上で5分程度で認知機能の状態をチェックできるチェックテストなどを利用し、定期的に認知機能のチェックを行うことで、自分の認知機能の低下に早い段階で気付くことができます。)

【根本原因を考える】認知症の方は、時に徘徊や妄想など、とても困った症状(BPSD)を示されます。周りにいる方々は、ついその目の前の症状に気をとられて

- ・徘徊する→家から出られないよう鍵をかけよう
- ・妄想がある→適当にごまかして忘れさせよう

などといったその場その場の対応をとりがちです。もちろん、こうした対応がすべて悪いわけではありません。特に危険な行為の場合、緊急に止めなくてはなりませんから、手段を選んでいいられないのが正直なところです。ただ、認知症の方がさまざまな症状を示されるのには、必ずそれなりの理由があります。その根本原因が解消されない限り、また似たような症状が出て、再び対応しなくてはならなくなる…と「いたちごっこ」に陥ってしまうおそれがあるのです。困った症状(BPSD)の原因として考えられるのは、

- ・心理的な要素(不安は最も重要、その他、さびしさ、怒りなど)
- ・周囲の働きかけの問題(いきなり手をつかんだ、大声で呼びかけた、行く手を遮ったなど)
- ・体の不調(便秘、脱水、空腹、痛み、かゆみ、運動不足、発熱など)
- ・薬の影響
- ・環境(騒々しい、まぶしい、なじみがない、臭いがするなど)
- ・以前の習慣(毎朝会社へ行っていた、農家で畑を耕していたなど)

だといわれています。

ご家族だけでこの原因を見きわめるのは難しいかもしれません、日ごろご本人と接している介護スタッフ・ケアマネジャー・医師などと十分話し合って、知恵を出し合い、根本的な解決を図っていきましょう。

(なでしこ・上田)

なでしこ基本理念

個人として、家族・社会の一員として自分らしい生活を、生きがいのある生活を共に考え、共に歩んでいきたい。

入所トピックス

『春だ!お花見へ行こう!!』

今 年は、4月4・5日、白川公園へお花見に行きました。例年に比べ、桜の開花も早く白川公園の桜も緑が見え始めていましたが、4日はお天気も良く気候も暖かかったため、お弁当を食べながら「綺麗かね~」、「気持ちがいい~」と皆様喜ばれておりました。5日は、出発直後から雨が降るというハプニングに見舞われましたが、なでしこにてお花見弁当を食べ春を感じていただきました。しかし、楽しみが大きかったせいか「天気が良かったらね~」、「桜も雨で散るだろね~」と残念そうに外を眺められる利用者様もおられました。来年は、テルテル坊主を作り綺麗な桜を絶対一緒に見に行きましょう!



2018/04/04 12:58
白川公園で春を感じました!

(なでしこ・中村)

こ・こ(Co-Co)トピックス

季節の食事を楽しみました!

季節に合った食事が
大好評です♪



グ ループホームこ・こでは、入居者様にホーム内でも季節を感じて頂けるよう、季節に合った食事を職員が真心込めて手作りしています。2ヵ月に1回豪華な行事食(会席膳、うな重など)も計画しており、入居者様に大変喜んで頂いております。入居者様の重度化に伴い作れる物は限られていますが、どの料理も少しでも美味しく入居者様全員に食べて頂けるように、その場で一人一人に合った形態にして提供しています。

手作りの食事をその場で提供できるのはグループホームでしか出来ないことなので、いつまでも食べるということを楽しんで頂けるよう、今後も料理の質の向上に励んでいきたいと思います。



真心込もった
手作りの食事です



(こ・こ・井下)

なでしこガーデン上熊本

満開の桜でした!

今 年の花見は、当住宅近隣への花見散歩と花見場所を5カ所巡る花見ドライブを行いました。花見の散歩では、近隣の県立総合体育館敷地内をゆっくりと散歩し、晴天の下、桜の隙間からまっすぐ伸びる陽の日射しを浴びながら満開の桜を眺める事ができました。花見ドライブではフードパル周辺や崇城大学周辺、熊本城周辺等をドライブし、ちょうど桜が散り始める直前の時期でしたので、花びらがふくらとなった満開の桜を目の前で見る事ができました。毎年、花見見学は桜の開花予想を見極めながらの日程調整となります。今年も満開の桜を見て頂く事ができて良かったです!



(なでしこガーデン上熊本・高村)

なでしこ ワクワク その60調査隊 ちょうさたい

SHIMOKAWA IRYO

下川衣料店

「表参道 吉田病院・なでしこ」の周辺には、楽しいスポットがたくさん!
今回は吉田病院側から子飼商店街へ入ってすぐの「下川衣料店」さんをご紹介します。

明るい色を着て
表情も明るく!いつでも笑顔で
お待ちしております!

呉服を取り扱いあり

コーディネートの
ご提案も!

◎住所 / 〒860-0854 熊本市中央区東子飼町2-2

◎営業時間 / (平日)9:30~18:30
(日曜)10:00~17:00

◎TEL / 096-343-4812 ◎定休日 / 第一日曜日

今回なでしこ調査隊は、吉田病院側から子飼商店街へ入ってすぐの「下川衣料店」さんにお邪魔しました。下川衣料店さんは現在のご主人のお祖父様の代に熊本駅の近くに開店し、その後現在の子飼商店街に移転して今年で53年目となる、歴史のある衣料店です。とても優しい雰囲気のご夫婦で経営なさっています。扱っているものは主に婦人服で、その他にも靴やバッグ、水引きで作られた手作り感のある珍しい指輪、呉服なども取りそろえており、着付けもなさっているそう。

訪問する前は婦人服店ということで、落ち着いた色の洋服が多いのかな、と勝手に思っていましたが全くそのようなことはなく、ピンクや黄色、水色、刺繡の花柄など明るい印象の洋服が多く並べられていました。奥さんは、「明るい色の服を着ることによって顔もパッと明るく見えるから、歳を重ねた方にもぜひ明るい色の服を着てほしい。」とおっしゃっていました。また年齢に合わせて、隠したい部分は隠すことができるけれど、形はスタイリッシュなものや、細身のシックとしたパンツに見えるけれど、実際はストレッチが効いていて、ウエストはゴムになっており、楽に履くことができる、といった機能的かつお洒落な洋服が多く、人気があるとのこと。

お客様は常連の方が多く、近くに住んでいる方だけでなく、吉田病院に通院され

ている方、入院・入所されている方のご家族などもいらっしゃるそうです。こちらのお店ではお客様といろいろお話ししながら一緒に洋服を選ぶことが多いとのこと。自分で洋服を選ぶといつも同じような格好になってしまい、少し地味に感じる、という方は多いのではないか?こちらのお客様の中には、一緒に洋服選び、今まで選ぶことのなかった明るいものを着るようになり、気持ちまで元気になっていた方もいるそうです。自分ひとりで選ぶことももちろんいいですが、こちらのご夫婦はより似合うもの、より明るい、お洒落なコーディネートを選んでください。もちろん無理に薦めてくるようなことはないので安心ください。

お二人は、「お出かけするときはもちろんのこと、例えば病院に行く、といったときでも、お洒落を楽しんでほしい。特に女性はお洒落をすることで内面まで明るくなっていく。気持ちが前向きになることで健康にもいい影響があると思う。」とおっしゃっていました。洋服を通して元気に明るくなってほしい、という思いがとても素敵だなと感じました。まずは店内を見て回るだけでも、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

(病院・立石/古木)

調査隊
ちょうさたい
次回取材先は?

さて、ここはどこでしょう?皆さん解りますか?
わくわく調査隊の次回取材先は一体??



カルチャー・ボランティア紹介!!

今回のカルチャーボランティア!
ホワイトダックス様



編集後記

利用者様はもちろん職員もギターの音色と素敵な歌声に癒されています。お忙しい中、お時間を頂き有難うございました。

(こ・こ・石橋)

紹介するボランティアは「ホワイトダックス」様です。

デイサービスこ・こでは、月に1回、ギターボランティアでお世話になっております。
毎回5~7名前後で来てくださり、迫力のある演奏でご利用者も喜んでおられます。

Q グループ紹介をお願い致します。

A 平均年齢73歳、最高齢94歳の14名で活動しています。
結成4年目で月に1~2回高齢者施設を訪問しています。

最高齢(94歳)の方はなんと
水泳のマスターで
25mクロールと25m背泳の
日本記録保持者!



Q 演奏する際に気をつけていることはありますか?

A 大人数で演奏するときは心を一つにしてハーモニーを大切にしています。
ソロパートではそれぞれ得意な分野が違うので個性が出ていていると思います。
一緒に楽しい時間を過ごして頂けるように、歌詞カードを準備したりアンプを使用して音を聞き取りやすくしています。喜んでもらえることが自分たちの元気の源です。また、人前で弾くことでギターも上達し、緊張しますがストレス解消にもなっております。



素敵な音色が
聞こえてきます!

編集室

次号(62号)の発行は2018年8月を予定しております。お楽しみに!

当新聞の校正、編集におきまして個人情報の保護に注意を払いながら作成しております。構成上、写真等を掲載する場合がございます。特定の個人を識別できる情報や写真の掲載に関しましては、あらかじめ本人様又はご家族等の同意を頂いております。尚、新聞記事又は個人情報に関するご意見・ご感想がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。